

# 小学部の自閉症学級における 教室環境の整備

小学部では、自閉症の障害特性に応じて、活動ごとのスペースの設定や視覚刺激の調整等を行い、児童が分かりやすく見通しをもちやすい教室環境にしていきます。そのために、以下のことに留意して、教室内の配置を考えます。

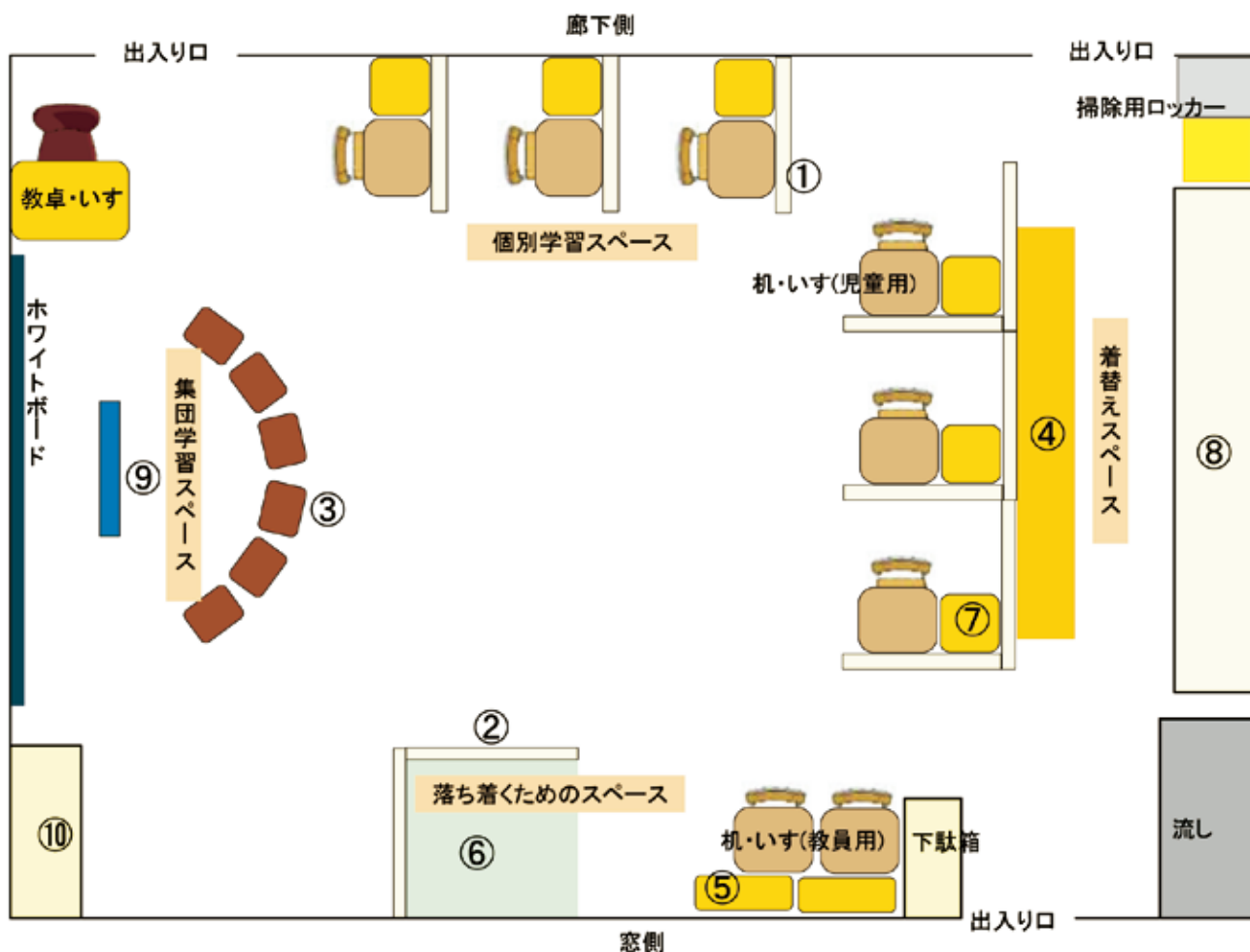
- 1 何をどこで行うかを対応させ、着替え、集団学習、個別学習と活動ごとの場所を分かりやすく示します。
- 2 ついたての設置や掲示物の整理などで視覚情報を調整します。  
スケジュールや手順、物の置き場等について、絵や写真などで視覚的に提示します。
- 3 個別学習スペースを設定し、活動の基点にします。
- 4 特に社会性の学習の学習活動や日常生活の様々な活動がしやすいように教室内に配置します。

## 配慮事項

安全への配慮から、窓際には児童が上に乗れるようなついたてや棚を置かないようにします。  
ついたての設置に際しては、教室内の教師の視界の確保に配慮します。  
ついたて等の遮蔽物がある場所の照度に配慮します。

\*「自閉症学級」とは、自閉症の児童・生徒で編成した学級のことです。

## 小学部第1学年の教室内の配置例



# 個別学習スペース

個別学習スペースは、机上で学習を行うことの他に児童の活動の起点や居場所にもなります。ついたてを用いることで、スペースの明確化と視覚情報の整理を行います。個別学習では、対面指導が必要な場合もあります。その時は、折りたたみ式長机を使用し、児童の机は動かさずに、個別に指導を行います。

## 個別の課題棚

400×400×900 mm 4段 かご付き  
机の左側に教材棚を設置します。  
教材は上から順にとって自分から  
学習を進められるようにします。

## スケジュール

課題の手順を提示しておく、  
確認しながら取り組むことが  
できます。

課題が終わったら、右側の  
かごにしまいます。左→右  
の流れをつくっておくと、活  
動がスムーズに流れます。

## パーティションで 前面と片方の側面を仕切ります。

(両側面を囲んでしまうと、背面からの指導となり、  
様子が分かりづらくなるため)  
教師からの視界の確保のため、高さは1200mm程度、  
上部は磨りガラス、下部は抜けている  
ついたてを用います。

## 児童の動線

登校後、児童はまず、  
自分の個別学習スペースに行き、荷物を下ろします。  
そこでスケジュール  
(朝の流れ、児童によっては一日の流れ)を確認し、  
その後は荷物整理など、  
次の活動を手順に沿って行います。

# 集団学習スペース

集団学習スペースには、個別学習スペースとは別のいすを用意します。異なるいすを配置することによって、スペースの明確化が図れます。必要に応じて床にテープなどで印をつけることも有効です。

ホワイトボードにはカーテンレールを設置し、必要に応じてホワイトボードに掲示した情報をカーテンで隠すことができますようにします。

一日のスケジュールは、ホワイトボードとは別に、案内板を利用して掲示します。児童に近い場所で必要な情報のみを提示するようにします。

ホワイトボード上の情報は、必要なもの以外は貼らないようにします。

スケジュール提示用に案内板を使用し、必要な情報に集中できるようにします。

児童のいすは、中央に意識を向けることができるよう、馬蹄形を基本とします。

必要に応じてカーテンを引き、情報の整理をします。

個別学習スペースとは別のいすを用意し、スペースの明確化を図ります。



## スケジュール提示の方法

絵(写真)と文字、両方の情報提示が基本です。文字は横書きで、スケジュールは上から下への流れで掲示します。



きゅうしょく

# 落ち着くためのスペース

落ち着くためのスペースは、児童が落ち着かない時に集団から離れ、気持ちを切り替えるために必要です。

このスペースは、児童の安全面への配慮や児童の行動範囲を考慮して教室内に設置します。ついたてを用いて視覚情報の整理を行い、床はマット等を利用し、横になれるようにします。安全面の配慮から、ついたての固定が必要です。また、必要な物以外は置かず、遊び場にならないようにします。

落ち着くためのスペースとして活用するため、なるべく物がないようにし、環境からの刺激を減らします。

ついたては、高さ90cm、床まであるものを利用し、きちんと固定します。

床にはマットを敷き、児童が横になれるようにします。

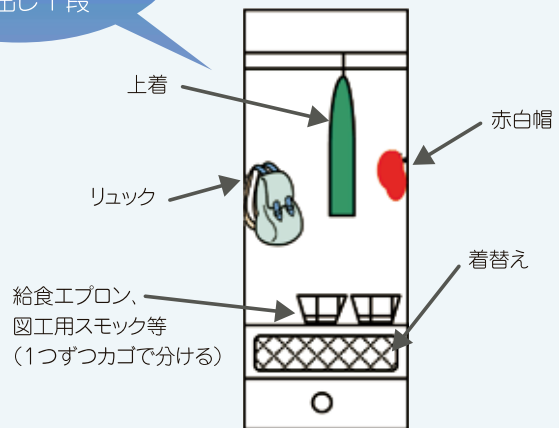


# 着替えスペース

着替えスペースは、低学年では教室内に設置します。  
 児童机ではなく長机を常設しておきます。必要に応じてテープで個人のスペースを区切ることも考えられます。  
 個人の棚には、かご等を利用して、給食袋、帽子、リュックなどの置き場を明確にします。必要に応じて絵や写真を掲示して、児童が自分で物の出し入れができるようにします。

**着替えを置く机**  
 必要に応じてテープで仕切ります。

**棚の構成**  
 上段オープンロッカー  
 下段オープン棚 1 段  
 引き出し 1 段



コップ、歯ブラシ、タオル置き場などは、流し周辺に個人の場所が明確になるように設定します。

## 小学部第1学年の教室で活用しやすい備品の例

	物品の例	大きさの例 (mm)	数の目安	備考
①	ついたて	900x30x1200	9	個別学習スペース用。下が空いていて、上部はすりガラス。
②	ついたて	900x30x900	2	落ち着くためのスペース用。下が空いていないもの。
③	体育いす	330x230x330	6	集団学習スペース用。
④	長机	1800x900x700	2	着替えスペース用。
⑤	折りたたみ長机	1800x750x500	2	個別学習用。高さ調整可能なものが望ましい。
⑥	マット	900x900	1	落ち着くためのスペース用。
⑦	個別の教材棚	400x400x900	6	個別学習スペース用。4段。かご付き。
⑧	着替えロッカー		1	つくりつけ。6名用。
⑨	移動式案内板	470x400x1250	1	集団学習スペース用。スケジュール提示に使用。
⑩	収納棚	900x450	1	つくりつけ。高さ天井まで。扉は中が見えないもの。(ガラス不可)